

Book 1 pp.8-9 Let's Start 1 学校での会話を聞こう 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Let's start 1 8-9	<p>●英語で読まれる教科名を聞き、それがなんの教科かを理解し、音読する。</p> <p>①①を行い、聞こえた教科名の絵を指でさす。</p> <p>②教科名を指さしながら音読する。</p> <p>●授業場面の会話を聞き、聞き取れた情報からなんの教科の授業かを理解する。</p> <p>③②を行い、授業場面の会話を聞いてその概要を捉え、どの教室での会話か指でさす。</p> <p>④No.1～4の会話について、聞き取れたことを言ってみる。</p> <p>⑤クラス全体で答えを確認する。</p>	③小学校教材 We can と令和2年度教科書を参照し、既習事項を確認する。
後 日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・教科名の読み方と意味を理解する。</p>	

Book 1 pp.10-11 Let's Start 2 町での会話を聞こう 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Let's start 2 10-11	<p>●英語で読まれる建物名を聞き、それらが何を表すかを理解し、音読する。</p> <p>①①を行い、聞こえた建物を指でさす。</p> <p>②建物名を指さしながら音読する。</p> <p>●会話を聞き、聞き取れた情報からどの建物での会話かを理解する。</p> <p>③②を行い、会話を聞いてその概要を捉え、どの建物での会話か指でさす。</p> <p>④No.1～8の会話について、聞き取れたことを言ってみる。</p> <p>⑤クラス全体で答えを確認する。</p>	③小学校教材 We can と令和2年度版教科書を参照し、既習事項を確認する。
後 日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・建物の名称の読み方と意味を理解する。</p>	

Book 1 pp.12-13 Let's Start 3 アルファベットを読み書きしよう 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Let's start 3 12-13	<p>●A から Z までの大文字と小文字を正しく書く。 ① 1 ① を行い, A から Z の大文字と小文字を識別し, 正しく書く。</p> <p>●A から Z までの文字を識別し, 文字の名前を発音する。 ② 1 ② を行い, A から Z の文字の読み方を聞き, 発音する。</p> <p>●A から Z までの複数の文字でできた略語や単語を識別し, 書いたり, 聞いたり, 発音したりする。 ③ 2 ① を行い, 写真を見て空白にあてあまる略語や単語を書く。 ④ 2 ② を行い, 略語や単語を聞いたり発音したりする。</p> <p>●英語で名前を書くことの決まりを理解して, 自分の名前を書く。 ⑤ 3 好きなものなどのイラストも取り入れながら自分の名刺を作成する。</p>	<p>・A から Z までの文字を聞くこと, 読むこと(音読), 書くことの素地が小学校でどの程度培われているかを観察したい。</p> <p>①大文字, 小文字の違いを確認する。 ③身近な場面で目にする略語や単語を発表する。</p>
後 日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・アルファベットの音の特徴やきまりを理解して, 聞き取る技能を身に付ける。</p>	

Book 1 pp.14-15 Let's Start 4 英語の文字が表す音を聞こう 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Let's start 4 14-15	<p>●A から Z の文字には、名前と文字が表す音(アブクド読み)があることを理解し、A から Z の文字の名前と音とその文字から始まる単語を聞き取る。</p> <p>①①を行い、発音される A から Z の文字の名前を聞き、その後に文字の音を聞き、その後絵の単語が読まれるのを聞き取る。</p> <p>※アブクド読みと名前読みの2つがある文字については、まずアブクド読みの単語が読まれ、その後に名前読みの単語が読まれる(例:A アア apple, A エイエイ apron)。</p> <p>●A から Z までの文字から始まる単語を識別し、音読する。</p> <p>②②を行い、①と同じ順番で録音された音声を聞き、その後続いて発音する。</p> <p>③②の音声をもう一度聞き、A から Z の文字の絵と単語を見ながら後に続いて発音する。</p>	<p>①名前読みと音(アブクド)読みについて確認する。</p> <p>③生徒の単語を読むことの素地がどの程度培われているのかを観察したい。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・アルファベットが表す音声の特徴やきまりを理解する。</p>	

Book 1 pp.16-17 Let's Start 5 英語の文字が表す音に慣れよう 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Let's start 5 16-17	<p>●文字が表す音(アブクド読み)を識別し、単語を聞いて最初の文字を想像する。</p> <p>①①を行い、同じ音で始まる単語を選び、a～cのいずれかに○をする。</p> <p>②①の音声をもう一度聞き、絵を見ながら後について言う。</p> <p>●読まれた単語に含まれる文字が表す音を聞き取り、その文字を書く。</p> <p>③②を1文字隠された単語を見ながら、単語が読まれるのを聞く。</p> <p>④②の音声をもう一度聞き、単語の隠された文字を聞き取り、書く。</p> <p>●5つの母音字の代表的な音(アブクド読み)を聞き、読まれた単語のつづりを選ぶ。</p> <p>⑤③を行い、文字と絵を見ながら聞く。</p> <p>⑥③の音声をもう一度聞き、絵と文字を見ながら後について言う。</p> <p>⑦④を行い、発音された単語を選び、aかbに○をする。</p> <p>⑧④の音声をもう一度聞き、後について言う。</p> <p>●5つの母音字が名前読みになる単語とアブクド読みになる単語があることを理解し、識別して発音する。</p> <p>⑨⑤を行い、音のちがいに注意して聞く。</p> <p>⑩⑤の音声をもう一度聞き、後について発音する。</p>	<p>①Let's Start 4 で聞いた発音したりした子音字のアブクド読みを確認する。</p> <p>③子音字については、文字の音(アブクド読み)を聞くことでその文字を思い浮かべられるようにしたい。</p> <p>⑥母音字の文字の音については、5つの主な母音(アブクド読み)を識別できるようにしたい。</p> <p>・これらの活動から音とつづりの関係につなげていきたい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・アルファベットが表す音声の特徴やきまりを理解して、英単語を読む技能を身に付けている。</p>	

Book 1 pp.18-19 Let's Start 6 数字を聞いて使ってみよう 指導計画

時	Part ページ	ねらい(●), 言語活動(丸数字)	留意点
1	Let's start 6 18-19	<p>●4桁までの数字の発音や意味を理解し, ものの値段を正しく聞きとる。</p> <p>①1の活動に入る前に, 1に掲載している数字が読まれるのを聞き, 後について発音する。</p> <p>②1①を行い, 読まれた数字を指でさす。</p> <p>③1②を行い, 会話を聞いてそれぞれの値段を聞き取る。</p> <p>●簡単な語句や文を用いた会話を聞き, 誕生日を聞き取る。</p> <p>④2の活動に入る前に, 2に掲載している曜日, 日付(序数), 月の名前が順に読まれるのを聞き, 後について発音する。</p> <p>⑤2①を行い, 読まれる曜日, 日付, 月の名前を指でさす。</p> <p>⑥2②をペアで行い, Sakura と Kai の会話を聞き, まず2人の誕生日を順に言う。</p> <p>⑦もう一度会話を聞き, 解答を書く。</p> <p>●基本的な表現を用いて誕生日を尋ねたり, 答えたりする。</p> <p>⑧③の活動に入る前に, 誕生日を尋ねる会話を聞き, 後について言う。</p> <p>⑨2③を行い, 友だちと互いの誕生日を尋ね合う。</p>	<p>①数字について確認する。</p> <p>③値段の尋ね方や答え方を確認する。</p> <p>④曜日や日付(序数), 月の名前の言い方について確認する。</p> <p>⑥小学校で聞いた話したりしてきた内容なので, どの程度コミュニケーション能力が培われているかを観察したい(⑨も同様)。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・数字や序数, 曜日や月の名前を表す語句の読み方や意味などを理解する。</p>	

Book 1 pp.20-21 Let's Start 7 英語を聞いて使ってみよう 指導計画

時	Part ページ	ねらい(●), 言語活動(丸数字)	留意点
1	Let's start 7 20-21	<p>●小学校の学校行事を表す語句の発音や意味を理解し、音読する。簡単な語句や文を用いて小学校の思い出について話す。</p> <p>①1●を行い、読まれた学校行事を指でさす。</p> <p>②学校行事を指さしながら音読する。</p> <p>③グループになり2●を行う。例を参考にして一番の思い出の行事について話し、感想を付け加える。</p> <p>●中学校の部活動を表す語句の発音や意味を理解し、音読する。簡単な語句や文を用いて参加したい部活動やしてみたいことを話す。</p> <p>④2●を行い、読まれた部活動を指でさす。</p> <p>⑤部活動を指さしながら音読する。</p> <p>⑥グループになり2●を行う。例を参考にして参加してみたいと思う部活動について話す。</p>	<p>③p.132 Word Box 1 も参照し、自分にとって一番の思い出になっている行事を選んで話す。</p> <p>⑥p.132 Word Box 2 も参照し、自分が本当に参加したいと思っている部活動を選んで話す。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・小学校の行事の思い出や中学校で参加したい部活動について話す技能を身に付けている。</p>	

Book 1 pp.22-25 Unit 1 英語で話そう 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 22-23	<p>●英語のあいさつや Classroom English について理解する。</p> <p>①小学校で学習したあいさつを思い出して言う。</p> <p>②pp.6-7 にある Classroom English を用いて、教室で教師や生徒がよく使う英語を聞いたり言ってみたりしながら理解する。</p> <p>●ベル先生の自己紹介について必要な情報を捉え、I am ~. I'm from ~. I'm good at ~. を用いた文について理解する。</p> <p>③Get Ready の本文を聞き、必要な情報を聞き取る。</p> <p>④Words の新出語句を確認する。</p> <p>⑤Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>⑥Target 1 を使い、I am ~. を用いた文の構造を理解する。</p>	<p>②やりとりの基本となる Classroom English は常に使い、数多く聞かせたい。</p> <p>・ふつうの文は文末を下げて言う。</p>
2	Part 1 22-23	<p>●I am ~. I'm from ~. I'm good at ~. を用いた文を使って、即興で話したり正確に書いたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い、それぞれの人物になったつもりで自己紹介をする。</p> <p>②Use①をグループまたはクラスで行う。p.132 Word Box 3 も参照。</p> <p>③Use②①で行った自己紹介から自分の得意なことを書く (pp.26-27 の「文の書き方」も参照)。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>②あいさつから名前、出身、得意なことを言う。</p>
3	Part 2 24-25	<p>●ベル先生とソラの対話から必要な情報を捉え、主語が2人称の be 動詞を用いた肯定文、疑問文とその答え、1人称と2人称の否定文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞き、必要な情報を聞き取る。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 2 を使い、You are ~, Are you ~? — Yes, I am. / No, I'm not., I'm not ~., You are not ~. を用いた文の構造を理解する。</p>	<p>・疑問文は文末を上げて言う。</p>
4	Part 2 24-25	<p>●You are ~, Are you ~? — Yes, I am. / No, I'm not, I'm not ~., You are not ~. を用いた文について、理解したり表現したり伝えあったりする。</p> <p>①Practice をペアで行い、部活動について交互に尋ねる。p.132 Word Box 2 も参照。</p> <p>②Use①をペアで行い、ファンであるかどうかを即興で伝え合う。</p> <p>③Use②①で尋ねたことを書く (pp.26-27 の「文の書き方」も参照)。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①Notes 部活動の表現を確認する。</p> <p>②表中のスポーツや趣味以外のものを用いて伝え合ってもよい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・簡単な語句や文を用いて即興で3行自己紹介をする。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・be 動詞 am, are を用いた文の理解を基に、初見の文章を読み必要な情報を引き出す。</p> <p>・be 動詞 am, are を用いた文の理解を基に、部活動や好きなことについて正確に書く。</p>	<p>・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p>

Book 1 pp.28-33 Unit 2 学校で 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 28-29	<p>●エミリーとアオイの対話から必要な情報を捉え、This is / Is this~?を用いた文の構造を理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 3 を使い、This is ~. / Is this~?を用いた文の構造を理解する。</p>	<p>①本文を聞いたり読んだりすることで、this と that の違いに気づかせる。 ・アクセントに注意。 banana / pencil case</p>
2	Part 1 28-29	<p>●This is ~. / Is this~?を用いた文を使って、即興で話したり正確に書いたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い、身の回りのものについて尋ね合う。 ②Use①をペアで行い、動物やキャラクターの絵を描いて尋ね合う。 ③Use②①でのやりとりを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①疑問文の読み方など英語のイントネーションについても確認する。</p>
3	Part 2 30-31	<p>●エミリーとアオイの対話から必要な情報を捉え、what を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 4 を使い、what を用いた疑問文の構造を理解する。</p>	<p>①what で尋ねられたときは、答えだけでなく、どのようなものか説明を加える。 ・what の疑問文は文末を下げて言う。</p>
4	Part 2 30-31	<p>●What is ~?を用いた文を使って、身の回りのものについて尋ねたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い、それぞれの写真について尋ね合う。 ②Use①の What's this?クイズをペアで出し合う。 ③Use②①で作ったクイズを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>②1人でクイズを作れない生徒を支援する。 ②クイズの出題は、原稿を見ずに行う。</p>
5	Part 3 32-33	<p>●アオイ、エミリー、ケントの対話から必要な情報を捉え、He / She is ~.を用いた文の構造を理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 5 を使い、He / She is ~.を用いた文の構造を理解する。</p>	<p>①他己紹介の基本パターンを確認する。 ・驚きを表す Really?は語末を上げて言う。</p>
6	Part 3 32-33	<p>●This is ~., He / She is ~.を用いた文を使って、人を紹介する。</p> <p>①Practice をペアで行い、それぞれの人物について紹介し合う。 ②Use①をペアやグループで行い、友だちやあこがれの人のことを即興で紹介する。 ③Use②①で紹介したことを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①サザエさんやドラえもんなどのほかのキャラクターに置き換えて紹介してもよい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト ・簡単な語句や文を用いて Show & Tell をする(5文程度で発表)。 リスニングテスト ・This is ~. / Is this ~?, 疑問詞 what, He / She is ~.の文を用いた、友だちや身の周りのことについての対話を聞いて必要な情報を聞き取る。</p>	<p>・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p>

Book 1 p.34 Let's Talk 1 時刻 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	34	<p>●世界中の国や都市の時刻について、尋ねたり伝え合ったりする。</p> <p>①モデル対話を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>③モデル対話の概要を確認した後、クラス全体で音読する。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。国際電話で相手に伝える設定で、はっきりと話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。国名(p.133 Word Box 4 を参照)を変えてもスムーズに応答できるようになるまで練習する。</p>	<p>④a.m.と p.m.の使い方について確認する。</p> <p>× a.m.10:00</p> <p>○ 10:00 a.m.</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師あるいは友達と時刻を尋ねたり答えたりする。 <p>リスニングテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻を尋ねたり答えたりする対話を聞き、必要な情報を聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期末に行う。

Book 1 p.35 Target のまとめ ① 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	35	<p>●be 動詞を用いた肯定文、否定文、疑問文について理解し、相手の好きなことや部活動について尋ね、それらの情報を整理してグループまたはクラスで紹介する。</p> <p>①表にある be 動詞についての理解度を、例文を使って確認する。</p> <p>②Let's try①の会話例をペアで読み、表にある表現が会話中でどう機能しているか確認する。</p> <p>③Let's Try①の会話例を参考にして、ペアで相手が好きなことと部活動について尋ね合う。</p> <p>④Let's try②①で分かった情報をもとに、グループまたはクラスで紹介する。</p>	<p>②文脈の中で機能を確認するようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p>	

Book 1 pp.36-41 Unit 3 海外からの転校生 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 36-37	<p>●転校生のチェン・リーの自己紹介の概要を捉え、I like ~.をはじめ一般動詞を用いた文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 6 を使い、一般動詞の肯定文の構造を理解する。</p>	<p>①時間があればペアになって、チェンの自己紹介を自分のことに置き換えて話す。</p> <p>・名前読みとアブクド読みの違いに注意。</p> <p><u>I, like / is, this</u></p>
2	Part 1 36-37	<p>●一般動詞の肯定文について、理解したり表現したり伝え合ったりする。</p> <p>①Practice をペアで行い、絵の中の人物になったつもりで何時に何をするかを言う。</p> <p>②Use①をペアで行い、放課後によくすることを伝え合う。p.134 Word Box 5 も参照。</p> <p>③Use②①で自分が話したことを書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①時間の言い方を確認する。</p>
3	Part 2 38-39	<p>●ソラとチェンの食べ物についての対話から必要な情報を捉え、一般動詞の疑問文や否定文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 7 を使い、一般動詞の疑問文や否定文の構造を理解する。</p>	<p>②How about ~? は汎用性が高い表現なので会話で使いこなせるようにしたい。</p> <p>・how の疑問文は文末を下げて言う。</p>
4	Part 2 38-39	<p>●一般動詞の疑問文や否定文について、理解したり表現したり伝え合ったりする。</p> <p>①Practice をペアで行い、それぞれの絵について尋ね合い、自分について答える。</p> <p>②Use①をペアで行い、友だちについて知りたいことを即興で尋ね合う。</p> <p>③Use②①でのやりとりを1つ書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①pp.36-39 に出ている動詞は日常生活で欠かせない動詞なので確実に使えるようにしたい。</p>
5	Part 3 40-41	<p>●チェンとソラの対話の概要を捉え、相手に指示をする一般動詞の命令文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 8 を使い、一般動詞の命令文の構造を理解する。</p>	<p>①本文 1-2 行目は写真を使った Show & Tell として使える表現。</p> <p>・つながる音に注意。</p> <p><u>Look at / It's a / make it / good at</u></p>
6	Part 3 40-41	<p>●一般動詞の命令文について、理解したり表現したりする。</p> <p>①Practice をペアで行い、標識が意味することを言う。</p> <p>②Use①をペアまたはグループで行い、自分で描いた標識の内容を言う。p.134 Word Box 6 も参照。</p> <p>③Use②①で描いた標識の内容を書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①右下枠内の動詞の発音と意味を確認する。</p> <p>②標識(絵)を描くのが苦手な生徒を支援する。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・一般動詞の肯定文や疑問文、否定文を正しく用いてふだんすることや好きなことについてやり取りする。</p> <p>ペーパーテスト</p>	<p>・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p>

Book 1 p.42 Let's Talk 2 私もです 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	42	<p>●場面に合わせて、対話中に様々なあいづちをうつ。</p> <p>①モデル対話を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>③モデル対話の概要を確認した後、クラス全体で音読する。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。あいづちの部分をやや強調して話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。Tool Box にある表現や pp.134-136 Word Box 7~15 を参照しながら、スムーズに応答できるようになるまで練習する。</p>	<p>③あいづちの表現では特にイントネーションが重要であることを確認する。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・日常的话题で教師とやりとりするスピーキングテストにおいて、自然なあいづちをいれながら話す。</p>	<p>・学期中に学習したいいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期末に行う。</p>

Book 1 p.43 Target のまとめ ② 一般動詞 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	43	<p>●一般動詞の肯定文、否定文、疑問文について理解し、相手の好きなことについて尋ねたり、自分のことを説明したりする。</p> <p>①表にある一般動詞についての理解度を、例文を使って確認する。</p> <p>②Let's try の会話例をペアで読み、表にある表現が会話中でどう機能しているか確認する。</p> <p>③Let's try の会話例を参考にして、ペアで好きなことについて尋ねたり説明したりする。</p>	<p>②文脈の中で機能を確認するようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・一般動詞の肯定文、否定文、疑問文を用いた表現について理解している。</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>・好きなことについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合う。</p>	

Book 1 pp.44-49 Unit 4 美術館で 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 44-45	<p>●エミリーとソラの対話から必要な情報を捉え, what で始まる一般動詞を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて, 必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 9 を使い, what で始まる一般動詞を用いた疑問文の構造を理解する。</p>	<p>・名前読みとアブクド読みの違いに注意。</p> <p>face / animal</p>
2	Part 1 44-45	<p>●what で始まる一般動詞を用いた疑問文を使って, 必要なことを伝え合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い, 絵について尋ね合う。</p> <p>②Use①をペアで行い, 友だちについて知りたいことを尋ね合う。Tool Box を参照。</p> <p>③Use②①で自分が尋ねたことと友だちが答えたことを書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>④時間があればペアになり, 馬以外に見える動物を考え, I see a ~. と発表する。</p> <p>・what+名詞は, 既習の様々な名詞で行ってみる。</p>
3	Part 2 46-47	<p>●エミリーとソラの対話から必要な情報を捉え, 名詞の複数形について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて, 必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 10 を使い, 名詞の複数形について理解する。</p>	<p>④p.128①名詞の複数形を参照。</p> <p>・s の発音の違いに注意。animals / faces / books</p>
4	Part 2 46-47	<p>●名詞の複数形を用いた文を使って, 必要なことを伝え合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice をペアまたはグループで行い, ほしいものとその数について言う。</p> <p>②Use①をペアで行い, 筆箱に入っているものとその数を尋ね合う。</p> <p>③Use②①で答えたことを書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①p.18 Let's Start 6 を参照(②も同じ)。名詞の複数形のつづりと発音を確認する(②も同じ)。</p> <p>②p.136 Word Box 16 を参照。</p>
5	Part 3 48-49	<p>●チェンとアオイの対話から必要な情報を捉え, how many を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて, 必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 11 を使い, how many を用いた疑問文の構造を理解する。</p>	<p>②新出の複数主語 they について確認する。</p> <p>④p.64 の代名詞の変化を参照。</p> <p>・th の発音の違いに注意。three/ these, they</p>
6	Part 3 48-49	<p>●how many を用いた疑問文を使って, 必要なことを伝え合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い, 絵にあるものがいくつ必要かを尋ね合う。</p> <p>②Use①をペアで行い, 身の回りのものをいくつ持っているか尋ね合う。</p> <p>③Use②①で自分が尋ねたことと友だちが答えたことを書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①名詞の複数形のつづりと発音を確認をする(p.128①名詞の複数形参照)。</p> <p>②not ~ any +名詞の複数形について確認する。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・関心のある事柄について情報交換するために, 疑問詞 what, 名詞の複数形, 数を尋ねる how many を含む文を用いて, 日常的な話題を即興で伝え合う。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・疑問詞 what, 名詞の複数形, 数を尋ねる how many を含む文を用いて, ふだんすることや数がいくつあるかを尋ねる英語を正確に書く。</p>	<p>・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき, そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p>

Book 1 p.50 Let's Talk 3 ショッピング 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	50	<p>●買い物の場面で、簡単な語句や文を用いて店員に値段を尋ねたり、その応答を理解したりする。</p> <p>①モデル対話を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>③モデル対話の概要を確認した後、クラス全体で音読する。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。値段の言い方に注意しながら話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。p.137 Word Box 17 を参照し、ほかのものでも対話できるようになるまで練習する。</p>	⑤Notes 大きな数字の読み方を確認する。
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段を尋ねたり、答えたりする表現の理解を基に、ショッピングの場面での対話を読む。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物の場面を設定し教師とやりとりするスピーキングテストにおいて、価格を尋ねたり答えたりする。 	・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期末に行う。

Book 1 p.51 Let's Listen 1 フロア案内 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	51	<p>●デパートで販売されている商品や各フロアを表す語句の意味や働きについて理解し、受付での客と店員の会話を聞いて、必要な情報を聞き取る。</p> <p>①Words の新出語句を確認する。</p> <p>②客と店員の会話から、1 から 4 の客が尋ねていた商品などを聞き取る。</p> <p>③客と店員の会話をもう一度聞き、1 から 4 の客がどの階に行くのかを聞き取る。</p> <p>④客と店員の会話から聞き取った情報をクラス全体で確認する。</p> <p>●英語の単語には特に強く発音する音 (アクセント) があることを理解し、アクセントのある音を強く読む。</p> <p>⑤発音コーナー①を読み、英語の単語には特に強く発音する音があることを理解し、1 から 3 を発音する。</p>	<p>①階数の表現については、p.19 Let's Start 6 を参照して序数の確認をする。</p> <p>⑤1～3の単語だけでなく、既習の単語についても同じように発音する。</p>
後日		<p>リスニングテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付での客と店員の会話を聞いて、必要な情報を聞き取る。 	

Book 1 p.52 Target のまとめ ③ 名詞の複数形 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	52	<p>●名詞には単数と複数の形があることを理解し、相手の持っているものについて尋ねたり、自分の持っているものについて伝えたりする。</p> <p>①名詞は単数か複数かによって形が変わり、名詞が単数か複数かによって用いられる指示形容詞が変わり、主語の名詞が単数か複数かによって用いられる be 動詞が変わるということや、how many の後ろの名詞には複数形が用いられるということについての理解度を、例文を使って確認する。</p> <p>②Let's try の会話例をペアで読み、上の囲みの中の表現が会話中でどう機能しているか確認する。</p> <p>③Let's try の会話例を参考にして、ペアになって飼っているペットやその数について会話する。</p>	<p>①p.128①名詞の複数形を参照。</p> <p>②文脈の中で機能を確認するようにする。</p>
後 日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名詞の複数形、数を尋ねる how many ~?を用いた文の構造を理解する。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持っているものについて、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合う。 	

Book 1 pp.53-55 Project 1 自己紹介をしよう 指導計画

時	Part ページ	ねらい(●), 言語活動(丸数字)	留意点
1	53	<p>●自己紹介を読んで、その概要を捉える。</p> <p>①①の2つの自己紹介を読んで知っている単語や表現をクラス全体で共有する。</p> <p>②Wordsの新出語句を確認する。</p> <p>③再度自己紹介文を読んで、分かったことをメモする。</p> <p>④クラス全体で自己紹介文の内容の理解度について確認する。</p> <p>⑤ペアでそれぞれの自己紹介文を音読してみる。</p>	<p>①自己紹介の際、盛り込みたい内容を最初に考えてもよい。</p>
2	54-55	<p>●自分のことについて事実を整理し、簡単な語句や文を用いて、新しく学校へ来るALTの先生に理解してもらえるような自己紹介文を書く。</p> <p>①p.54のWordsの新出語句を確認する。</p> <p>②p.54の自己紹介の表現を音読する。</p> <p>③②の①の活動を行う。p.54の文から紹介したい内容の文を選び、下線の語句を入れ替えて書く。</p> <p>④②の活動を行う。③で書いた文のつながりを意識して、順番を決めてから書く。</p> <p>⑤③の活動をグループ、またはクラス全体で行う。その際、発表するときのポイントを全員で確認する。</p> <p>⑥④自己紹介の内容をさらに詳しく理解するために、発表の後、聞き手はメモをもとに質問をし、発表者はそれに答える。</p>	<p>⑤聞き手は発表内容を簡単にメモする。ただし、聞くことがおろそかにならないようにしたい。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手に理解してもらえるよう、自分自身のことについて事実を整理し、簡単な語句や文を用いて自己紹介を書く。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のことについて事実を整理し、簡単な語句や文を用いて話す。 	

Book 1 pp.56-61 Unit 5 エミリーの家で 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 56-57	●アオイとエミリーの対話から必要な情報を捉え、助動詞 can を含む肯定文、否定文、疑問文について理解する。 ①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 12 を使い、助動詞 can を含む肯定文、否定文、疑問文の構造を理解する。	④cannot を can not と書かないようにしたい。 ・語末の t の発音は軽めに言う。it/ can't/ great
2	Part 1 56-57	●助動詞 can を含む肯定文、否定文、疑問文を使って、必要なことを伝え合ったり書いたりする。 ①Practice を行い、絵の人ができることとできないことを言う。 ②Use①をペアで行い、できるかどうかを尋ね合い、答えるときは一言つけ加える。 ③Use②を行い、自分のできることと、できないことを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。	①Notes 名前の呼び方を参照。
3	Part 2 58-59	●アオイとエミリーの対話から必要な情報を捉え、who を用いた疑問文について理解する。 ①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 13 を使い、who を用いた疑問文について理解する。	②Notes 人の性格を表す言葉を参照。 ・y の発音の違いに注意。 they, boy / Ryan, my
4	Part 2 58-59	●who を用いた疑問文を使って、必要な情報を伝え合ったり書いたりする。 ①Practice をペアで行い、写真の人物について尋ねたり紹介したりする。 ②Use①をペアで行い、友だちや有名人についてのクイズを出し合う。 ③Use②①で出したクイズを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。	・クイズの人物の説明を分かりやすくするように工夫させる。
5	Part 3 60-61	●エミリーとアオイの対話から必要な情報を捉え、代名詞の目的格について理解する。 ①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 14 を使い、代名詞の目的格について理解する。	④p.64 の代名詞の変化を参照し、所有格についてもふれる。 ・e の発音の違いに注意。these / Pepper, them
6	Part 3 60-61	●代名詞の目的格を含む文を用いて、必要なことを伝え合ったり書いたりする。 ①Practice をペアで行い、全国のゆるキャラについて紹介し、知っているか尋ね合う。 ②Use①をペアで行い、キャラクターや有名人について尋ね合う。 ③Use②①で尋ねたことを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。	④Notes を参照し、代名詞の所有格について再度確認する。
後日		パフォーマンステスト ・相手のことを知るために、関心のある事柄について、助動詞 can を含む文、疑問詞 who で始まる疑問文、代名詞の目的格を用いて、日常的な話題を即興で伝え合う。 ペーパーテスト ・読み手に理解してもらえよう、助動詞 can を含む文、疑問詞 who で始まる疑問文、代名詞の目的格を含む文を用いて、友だちや有名人についてのクイズを書く。	・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。

Book 1 p.62 Let's Talk 4 だれのもの？ 指導計画

時	Part ページ	ねらい(●), 言語活動(丸数字)	留意点
1	62	<p>●与えられた場面で、簡単な語句や文を用いて持ち主を尋ねたり、応答したりする。</p> <p>①モデル対話を聞き、概要を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>②モデル対話の概要を確認した後、クラス全体で音読する。</p> <p>③Step 1 をペアで練習する。尋ねられている持ち主を説明する部分を強く読む練習をする。</p> <p>④Step 2 をペアで行う。pp.136-137 の Word Box 16 と 18 を参照し、ほかのものでも対話できるようになるまで練習する。</p>	<p>・p.64 Target のまとめ</p> <p>⑤代名詞の変化を参照し、mine 以外の所有代名詞も確認する。また、人名's についてもふれる。</p> <p>・Here you are.も使えるようにしたい。</p>
後 日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち主を尋ねたり答えたりする表現を理解する。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち主を明らかにするために、疑問詞 whose で始まる文や所有代名詞を用いて、尋ねたり答えたり即興で伝え合う。 	<p>・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期末に行う。</p>

Book 1 p.63 Target のまとめ ④ can 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	63	<p>●助動詞 can を含む肯定文, 否定文, 疑問文の構造を理解し, できることやできないことについて伝え合う。</p> <p>①表にある助動詞 can についての理解度を, 例文を使って確認する。</p> <p>②Let's try の会話例をペアで読み, 表にある表現が会話中でどう機能しているか確認する。</p> <p>③Let's try の会話例を参考に, ペアになってできることやできないことを伝え合う。</p>	②文脈の中で機能を確認するようにする。
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can を含む肯定文, 否定文, 疑問文の意味や働きの理解を基に, 書かれた対話の内容から必要な情報を読み取る。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can を含む肯定文, 否定文, 疑問文を用いて, できることやできないことについて即興で伝え合う。 	

Book 1 p.64 Target のまとめ ⑤ 代名詞の変化 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	64	<p>●代名詞の格変化を識別し, その意味を理解し, 表現したり伝え合ったりする。</p> <p>①表にある代名詞は, 働きによって形が変化するというを理解し, その変化を識別する。</p> <p>②表にあるそれぞれの代名詞が教科書の本文中でどのように用いられているか確認する。</p> <p>③Let's try の会話例をペアで読み, 表にある代名詞が会話中でどう機能しているか確認する。</p> <p>④Let's try の会話例を参考に, ペアになって名前についての会話をする。</p>	③機械的な暗唱でなく, 文脈の中で機能を確認するようにする。
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代名詞の格変化のきまりの理解を基に, 書かれた対話の内容から必要な情報を読み取る。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代名詞を含む表現を用いて, 日常的な話題について即興で伝え合う。 	

Book 1 pp.66-71 Unit 6 ぼくのおじいさん 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 66-67	<p>●祖父についてのソラの発表を読んで必要な情報を捉え、3人称単数現在形を含む文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 15 を使い、主語が3人称単数現在形を用いた文の構造を理解する。</p>	<p>④p.128 ② 3人称・単数・現在の動詞の形を参照。 ・ch の発音の違いに注意。cherry, much / school</p>
2	Part 1 66-67	<p>●3人称単数現在形を含む文を使って、必要なことを伝え合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice を行い、それぞれの人物を紹介する。 ②Use ①をペアで行い、週末によくすることを尋ね合う。 ③Use ②①のやりとりからわかったことを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①動詞の3人称・単数・現在のつづりと発音を確認する。 ②p.137 Word Box 19 を参照し、実際の週末の過ごし方を伝え合う。</p>
3	Part 2 68-69	<p>●チェンとソラの対話から必要な情報を捉え、3人称単数現在形の疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 16 を使い、3人称単数現在形の疑問文について理解する。</p>	<p>② Notes grandfather 「祖父」を参照。 ・s の発音の違いに注意。sister / busy</p>
4	Part 2 68-69	<p>●3人称単数現在形の疑問文を使って、事実を即興で伝え合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い、それぞれの人について尋ねたり、絵を見て答えたりする。 ②Use ①の1を行う。 ③Use ①の2 3人グループを作り、例にならって尋ね合う。 ④Use ②①の2で尋ねた文と答えを書く。 ⑤本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①主語が3人称・複数の場合の疑問文の構造や答えるときの代名詞について確認する。</p>
5	Part 3 70-71	<p>●エミリーとソラの対話から必要な情報を捉え、3人称単数現在形の否定文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 17 を使い、3人称単数現在形の否定文について理解する。</p>	<p>②Notes fruit 「フルーツ」を参照。 ・つながる音に注意。But I want to grow cherries.</p>
6	Part 3 70-71	<p>●3人称単数現在形の否定文を使って、身近な人物がすることとしないことを即興で話す。</p> <p>①Practice をペアで行い、それぞれの人物がすることとしないことを言う。 ②Use ①をペアで行い、紹介したい人がすることとしないことを言う。 ③Use ②①で紹介したことを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>④不定詞については Book 2 Unit 4 で扱う。</p>
後日		<p>ペーパーテスト ・3人称単数現在形を含む文を用いて、友だちや家族について、簡単な語句や文を用いて短い文章を書く。</p> <p>パフォーマンステスト ・第三者のことを知るために、日常的な話題について、3人称単数現在形を含む文を用いて、事実を即興で伝え合う。</p>	<p>・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p>

Book 1 p.72 Let's Talk 5 お願い 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	72	<p>●与えられた状況において、簡単な語句や文を用いて相手に依頼をしたり、それに応答したりする。</p> <p>①モデル対話を聞き、概要を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>③モデル対話の概要を確認した後、クラス全体で音読する。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。相手に依頼をする部分と応答する部分に注意しながら読む練習をする。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。Tool Box を参照して状況に合う対話ができるようになるまで練習する。</p>	<p>②can を用いた依頼表現とその応答の表現について確認する。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に依頼したり応じたりする内容の対話を読み、その概要を読み取る <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 置かれた場面や目的に合わせて、相手に依頼する表現を用いて、相手に尋ねたり答えたり即興で伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期末に行う。

Book 1 p.73 Target のまとめ ⑥ 3人称・単数・現在 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	73	<p>●3人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文の文の構造を理解し、第三者のことについて表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>①表にある一般動詞の3人称単数現在についての理解度を、例文を使って確認する。</p> <p>②Let's try の2つの質問をペアで尋ね合い、食べ物やスポーツについての自分の好みを伝え合う。</p> <p>③②の活動で得た情報を用いて、グループやクラス全体で相手を紹介する。</p>	<p>②文脈の中で機能を確認するようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人称単数現在の肯定文、否定文、疑問文の表現が含まれる対話を読み、その内容から必要な情報を読み取る。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人称単数現在を含む表現を用いて、日常的话题について即興で伝え合う。 	

Book 1 pp.74-79 Unit 7 アメリカの学校 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 74-75	<p>●アメリカの学校の新学年に関するソラとエミリーの対話から必要な情報を捉え, when を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて, 必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 18 を使い, when を用いた疑問文の構造とその答え方を理解する。</p>	<p>②p.19 Let's Start 6 2 を参照して月や曜日の言い方を確認する。</p> <p>・when を用いた疑問文とその応答の文の音の強弱(文強勢)に注意。</p>
2	Part 1 74-75	<p>●when を用いた疑問文を使って, いつするのかを尋ね合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い, 絵に描かれていることをいつするかを尋ね合う。</p> <p>②Use①をペアで行い, 日常の動作をいつするかを尋ね合う。</p> <p>③Use②①でのやりとりを1つ書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①時を表す前置詞について確認する(after, on, in, ③before)。</p>
3	Part 2 76-77	<p>●アメリカの学校での教科書の扱い方に関するエミリーの説明から必要な情報を捉え, where を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて, 必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 19 を使い, where 用いた疑問文の構造とその答え方を理解する。</p>	<p>③場所を表す前置詞について確認する(in, on, by, under)。</p> <p>・oo の発音の違いに注意。school / textbook</p>
4	Part 2 76-77	<p>●where を用いた疑問文を使って, 場所について尋ね合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い, 絵に描かれたことをどこでするのかを尋ね合う。</p> <p>②Use①ペアになり, 絵の中の部屋にものを配置してそのものの位置を尋ね合う。</p> <p>③Use②①でのやりとりを1つ書く。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>②絵の中の部屋にあるものの名前を確認する。</p>
5	Part 3 78-79	<p>●アメリカの学校の通学方法に関するソラとエミリーの対話から必要な情報を捉え, how を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて, 必要な情報を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。</p> <p>④Target 20 を使い, 疑問詞 how を用いた疑問文の構造とその答え方を理解する。</p>	<p>①Notes アメリカのスクールバスを参照する。</p> <p>・u の発音の違いに注意。the <u>USA</u>, <u>use</u> / <u>bus</u>, <u>up</u></p>
6	Part 3 78-79	<p>●how を用いた疑問文を使って, どのように(方法)やどんなふうに(様態)するのかについて尋ね合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice をペアで行い, 絵に描かれていることをどのようにするのかを尋ね合う。</p> <p>②Use①をペアで行い, 日常の動作をどのようにするかを尋ね合う。</p> <p>③Use②①でのやりとりを1つ書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①Tool Box にある表現を確認する。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・関心のある事柄について情報交換するために, 日常生活の話題について, 疑問詞 when, where, how を用いて, 事実を即興で伝え合う。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・与えられた目的, 場面, 状況を理解し, 疑問詞 when, where, how を用いて, 適切な文を完成する。</p>	<p>・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき, そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p>

Book 1 p.80 Let's Talk 6 道案内 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	80	<p>●道を尋ねられた場合, 簡単な語句や文を用いて的確に道順を伝える。</p> <p>①モデル対話を聞き, 概要を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>③モデル対話の概要を確認した後, 個人・ペアやクラス全体で音読する。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。必要な情報が伝わるように, ていねいにはっきりと話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。①～③以外の場所にもスムーズに案内できるようになるまで練習する。</p>	<p>②まず重要表現にある道案内の基本表現を使えるようにしたい。</p> <p>⑤p.138 Word Box 20 を参照したり, 自分で地図を作って対話をしたりする。</p>
後 日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道順を尋ねられ, 道案内をする内容の対話の必要な情報を読み取る。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・置かれた場面や目的に応じて, 道順を伝える基本的な表現を用いて, 即興で相手に道案内をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき, そのうち任意の1つを学期末に行う。

Book 1 p.81 Target のまとめ ⑦ 疑問詞を使う疑問文

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	81	<p>●7W1H の疑問詞で始まる疑問文の構造を理解し, 疑問詞で始まる疑問文や簡単な文を用いて尋ねたり, 答えたりする。</p> <p>①表にある 7W1H の疑問詞についての理解度を, 例文を使って確認する。</p> <p>②Let's Try の会話例をペアで読み, 表にある表現が会話中でどう機能しているのか確認する。</p> <p>③Let's try の会話例を参考に, ペアで 7W1H の疑問詞を用いて知りたいことを尋ね合う。</p>	<p>①疑問詞で始まる疑問文は文末が下がり調子になることを確認する。</p> <p>③疑問詞を順に用いて尋ねるようなやり取りではなく, Let's Try の会話例のように文脈のある対話をさせたい。</p>
後 日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞で始まる疑問文の表現について理解している。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手について知るために, 疑問詞で始まる疑問文を用いながら, 即興で尋ね合う。 	

Book 1 pp.82-87 Unit 8 ベル先生の買い物 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 82-83	<p>●暖房器具について話すベル先生とアオイの対話から必要な情報を捉え、which を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 21 を使い、which を用いた疑問文の構造とその答え方を理解する。</p>	<p>③レストランのメニューを確認する。 ・which と or を用いた文のイントネーションに注意。</p>
2	Part 1 82-83	<p>●which を用いた疑問文を使って、どちらなのかを尋ね合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice を行い、絵を見て、どちらを～したいかを尋ね合う。 ②Use①をペアで行い、どちらがよいかを尋ね合う。 ③Use②①でのやりとりを1つ書く ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>②ほかにも質問を自由に考えて尋ね合う。</p>
3	Part 2 84-85	<p>●ベル先生とアオイの対話から必要な情報を捉え、why を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 22 を使い、why を用いた疑問文の構造とその答え方を理解する。</p>	<p>・あいづちの really は語末を下げて言う。</p>
4	Part 2 84-85	<p>●why を用いた疑問文を使って、理由や原因について尋ね合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice を行い、絵を見て理由を尋ね合う。 ②Use①をペアで行い、好きなものや好きなことの理由を尋ね合う。 ③Use②①でのやりとりを書く。 ⑤本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>②アニメやマンガ、テレビ番組、音楽など自由に取り上げて尋ね合う。</p>
5	Part 3 86-87	<p>●ベル先生と電気店の店員との対話から必要な情報を捉え、be 動詞の過去形を含む文について理解する。</p> <p>①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 23 を使い、be 動詞の過去形を含む文の構造とその答え方を理解する。</p>	<p>②Can I~?や I'd like ~. などの助動詞を用いた表現を確認する。 ・yes/no で答えられる疑問文は文末を上げて言う。</p>
6	Part 3 86-87	<p>●be 動詞の過去形を含む文を使って、昔と今のちがいを伝え合ったり書いたりする。</p> <p>①Practice を行い、絵の内容について、昔と今のちがいを説明する。 ②Use①をペアで行い、自分のことや事実について、昔と今でちがうことを言う。 ③Use②①で言ったことを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。</p>	<p>①be 動詞の過去形を用いた否定文と否定の短縮形について確認する。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・ which, why, be 動詞の過去形を用いた文の意味や働きの理解を基に、日常的な話題について書かれた文章から必要な情報を読み取る。</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>・ 現在と過去の違いを説明できるよう事実を整理して、簡単な語句や文を用いて話す。</p>	<p>・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p>

Book 1 p.88 Let's Talk 7 ファーストフード店 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	88	<p>●飲食店で店員の問いかけを理解したり, 簡単な語句や文を用いて注文したりする。</p> <p>①モデル対話を聞き, 概要を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>③モデル対話の概要を確認した後, クラス全体で音読する。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。必要な情報が伝わるように, ていねいにはっきりと話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。Burger Meal のメニューや p.138 Word Box 21 を参考にしながら自分でメニューを作って, その場面や状況に合わせて好きなものを注文する練習をする。</p>	<p>④Notes の金額の読み方を参照し, 値段の言い方を練習する。</p> <p>⑤Burger Meal のメニューや Word Box 21 の単語の発音練習をする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店で注文する場面での店員と客の対話の概要を読み取る。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店で, 店員の呼びかけに応えながら, 自分が希望するメニューを注文する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき, そのうち任意の1つを学期末に行う。

Book 1 p.89 Let's Listen 2 コマーシャル 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	89	<p>●飲食店のコマーシャルで使われている語句の意味や働きを理解し, コマーシャルを聞いて必要な情報を聞き取る。</p> <p>①Words の新出語句を確認する。</p> <p>②1 を行い, どの商品のコマーシャルかを聞きとる</p> <p>③2 で再度コマーシャルを聞いて各商品の値段を聞き取る。</p> <p>④コマーシャルから聞き取った情報をクラス全体で確認する。</p> <p>●英語特有の強弱をつけたリズムで文を音読する。</p> <p>⑤発音コーナー②を練習しながら, 英文のリズムについて理解し, 音読する。</p>	<p>③No. 1 から No. 4 の商品の値段の表現について確認する。</p> <p>⑤英文のリズム(文強勢)を意識してほかの文でも練習する。</p>
後日		<p>リスニングテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある商品のコマーシャルを聞き, 必要な情報を聞き取る。 	

Book 1 p.90 Target のまとめ ⑧ be 動詞の過去形

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	90	<p>●be 動詞の過去形を含む肯定文, 否定文, 疑問文の構造を理解し, 目的や内容に応じてそれらを用い, 正しく伝え合う。</p> <p>①表にある be 動詞の過去形の理解度を, 例文を使って確認する。</p> <p>②Let's try の会話例をペアで読み, 表にある表現が会話中でどう機能しているか確認する。</p> <p>③Let's try の会話例を参考に, ペアで昨日のことについて会話する。</p>	<p>②文脈の中で機能を確認するようにする。</p> <p>また, Yes/No 疑問文は文末を上げて言うことを確認する。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ be 動詞の過去形を含む肯定文, 否定文, 疑問文の表現について理解する。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のある事柄について情報交換するために, 過去のことについて, be 動詞の過去形を用いて, 即興で伝え合う。 	

Book 1 pp.91-93 Project 2 友だちにインタビューしよう 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	91-92	<p>●英語新聞にある友だち紹介の記事を読んで, 情報を読み取る。</p> <p>①①友だちを紹介する記事を読んで, 知っている単語や表現をクラス全体で共有する。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③①を行い, 記事の情報を得るためにインタビューで行った質問を確認する。</p> <p>④再度記事を読み, クラス全体で内容の理解度を確認する。</p> <p>⑤記事を音読する。</p> <p>⑥②記号にふさわしい見出しを考え, 全体で発表し合う。</p> <p>⑦p.92 にある質問例を音読しながら内容を理解する。</p>	<p>①キーワードやキーフレーズについて確認する。</p> <p>③ a ~ d の wh 疑問文について確認する。</p>
2	93	<p>●尋ねたいと思う事柄について be 動詞や助動詞, 疑問詞等を含む疑問文を用いてインタビューし, その回答を整理して, 友だちや先生の紹介文を書く。</p> <p>①②の①の活動を行う。質問例を参考にしながら友だちに尋ねたい質問を書く。</p> <p>②②の活動を行う。①で書いた質問を友だちにして, 回答をメモする。</p> <p>③③の活動を行う。回答のメモを整理しながら, 相手に関する紹介文を書く。</p> <p>④④書き上げた紹介文をペアになって交換し, 読み取ったことについて感想を言う。</p>	<p>③読む人に理解してもらえるような表現や語彙を選択する。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な英語のきまりや特徴を理解し, 人やものの紹介文を読む。 ・ 事実を整理し, 簡単な語句や文を用いて, 新聞の記事となる文章を書く。 	

Book 1 pp.94-101 Unit 9 冬休みの思い出 指導計画 (RT=Read & Think)

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 94-95	●エミリーが冬休みにしたことについて発表している英文の概要を捉え、一般動詞の過去形(規則変化)を含む文について理解する。 ①Get Readyの本文を聞いて、その概要を捉える。②Wordsの新出語句を確認する。 ③Listenの活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 24を使い、一般動詞の過去形(規則変化)を用いた文の構造を理解する。	④p.128④動詞の過去形を参照。 ・母音の前の the の発音に注意。
2	Part 1 94-95	●一般動詞の過去形(規則変化)を含む文を使って、現在していることと過去にしていたことを区別しながら伝え合ったり書いたりする。 ①Practiceをペアで行い、絵を見ながらふだんのことと昨日のことを言う。 ②Use①をペアで行い、昨日したことを感想を加えて伝え合う。 ③Use②①で言ったことを書く。 ④本文の音読活動や内容理解のためにQを行う。	②感想の表現は Tool Box や p.138 Word Box 22を参照。
3	Part 2 96-97	●エミリーが冬休みにしたことについて発表している英文(続き)の概要を捉え、一般動詞の過去形(不規則変化)を含む文について理解する。 ①Get Readyの本文を聞いて、その概要を捉える。②Wordsの新出語句を確認する。 ③Listenの活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 25を使い、一般動詞の過去形(不規則変化)を用いた文の構造を理解する。	・v と b の発音の違いに注意。cover, very / beautiful
4	Part 2 96-97	●一般動詞の過去形(不規則変化)を含む文を使って、過去にしたことを伝え合ったり書いたりする。 ①Practiceをペアで行い、過去の出来事を時間の流れに沿って言う。 ②Use①をペアで行い、行った場所とそこでしたことを順番に言う。 ③Use②①で言ったことを書く。 ⑤本文の音読活動や内容理解のためにQを行う。	② pp.137-138 Word Box 19と23を参照。
5	Part 3 98-99	●発表のあとのソラとエミリーの対話から必要な情報を捉え、一般動詞の過去形を含む文の疑問文と否定文について理解する。 ①Get Readyの本文を聞いて、必要な情報を捉える。②Wordsの新出語句を確認する。 ③Listenの活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 26を使い、一般動詞の過去形を含む否定文、疑問文の構造とその答え方を理解する。	②21stのstについて確認する。 ・つながって変化する音に注意。Did you ~?
6	Part 3 98-99	●一般動詞の過去形を含む文の疑問文や否定文を使って、過去の出来事について伝え合ったり書いたりする。 ①Practiceをペアで行い、絵の内容について昨日したかどうかを尋ね合う。 ②Use①をペアで行い、Practiceの絵の中で昨日自分がしなかったことを言う。 ③Use②①で言ったことを、情報を付け加えて書く。 ④本文の音読活動や内容理解のためにQを行う。	① pp.137-138 Word Box 19と23を参照し、ほかのことについても尋ね合う。
7	RT 100-101	●ベル先生のニューヨーク旅行の思い出について書かれた文章の概要を捉える。 ①本文を読んで、知っている単語や表現をクラス全体で共有する。 ②Wordsの新出語句を確認する。 ③Understanding 1と2を行い、クラス全体で内容理解について確認する。 ④③で行った2の活動をヒントに内容をサマライズする。	④3で線で結んだ内容を順番に文にし、前後に段落1の冒頭の文と段落5を加える要領で行う。
8	RT 100-101	●ベル先生のニューヨーク旅行の思い出を参考にしながら、自分の思ったことを相手に理解してもらえるように簡単な語句や文を用いて話す。 ①pp.100-101の写真を使いながら、前時に読んだ内容に関して振り返る。 ②Understanding 3の質問に答えるように、自分の考えをまとめる。 ③②でまとめた考えをグループで発表する。	③原稿を書くのではなく、話す要点をメモにし、それに基づいて発表する。
後日		ペーパーテスト ・自分が行った場所やそこでしたことを伝えるために事実を整理し、過去形の文を用いて短い文章を書く。 パフォーマンステスト ・過去の出来事について感想を加え、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合う。	・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。

Book 1 p.102 Let's Talk 8 なんてすてきなの 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	102	<p>●プレゼントの受け渡しの場面において、簡単な語句や文を用いて、感動や驚きの気持ちを即興で伝え合う。</p> <p>①モデル対話を聞き、概要を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>③モデル対話の概要を確認した後、クラス全体で音読する。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。また、p.139 Word Box 24 にある名詞や Tool Box の形容詞を参考にしながら自由にプレゼントを考え、スムーズに対話できるようにする。</p>	<p>②What ~! と How ~! の文構造の違いを確認する。</p> <p>⑤Tool Box や Word Box 24 の単語の発音練習をする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なんて~だろう」と感動や驚きを表現する文の構造を理解する。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や文を用いて、感動や驚きの気持ちを即興で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期末に行う。

Book 1 p.103 Target のまとめ ⑨ 一般動詞の過去形

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	103	<p>●一般動詞の過去形を含む肯定文、否定文、疑問文の構造を理解し、場面や目的に応じてそれらを正しく用い、伝え合う。</p> <p>①表にある一般動詞の過去形の理解度を、例文を使って確認する。</p> <p>②Let's try の会話例をペアで読み、表にある表現が会話中でどう機能しているか確認する。</p> <p>③Let's try の会話例を参考に、ペアで先週の日曜日にしたことについて会話する。</p>	<p>②文脈の中で機能を確認するようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形（規則変化、不規則変化）を含む肯定文、否定文、疑問文の表現について理解する。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心のある事柄について情報交換するために、過去にしたことについて、一般動詞の過去形を用いて、即興で伝え合う。 	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	Part 1 104-105	●チェンとアオイの対話から必要な情報を捉え、現在進行形の肯定文について理解する。 ①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 27 を使い、現在進行形の肯定文の構造を理解する。	④p.128③動詞の ing 形を参照。 ・ng の発音の違いに注意。look <u>ing</u> / f <u>inger</u>
2	Part 1 104-105	●現在進行形の肯定文を使って、何をしているところなのかを伝え合ったり書いたりする。 ①Practice をペアで行い、絵に描かれている人がしていることを言う。 ②Use①をペアで行う。Practice で説明しなかった人についても指さして説明する。 ③Use②①で言ったことを、情報を付け加えて書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。	・教師が写真を用意して行ってもよい。 ①Tool Box の動詞を確認する。
3	Part 2 106-107	●アオイとチェンが絵を見ながら行っている対話から必要な情報を捉え、現在進行形の疑問文について理解する。 ①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 28 を使い、現在進行形の疑問文の構造を理解する。	・鳥獣戯画について確認する。 ・gh の発音の違いに注意。laugh/ e <u>ight</u>
4	Part 2 106-107	●現在進行形の疑問文を使って、していることについて尋ね合ったり書いたりする。 ①Practice をペアで行い、写真の人がしていることについて尋ね合う。 ②Use①をペアで行い、少年がしていることを自由な発想で尋ね合う。 ③Use②①のやり取りを1つ書く。 ⑤本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。	①Tool Box の動詞を確認する。
5	Part 3 108-109	●チェンとアオイが写真を見ながら行っている対話から必要な情報を捉え、what を用いた現在進行形の疑問文について理解する。 ①Get Ready の本文を聞いて、必要な情報を捉える。②Words の新出語句を確認する。 ③Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由について全体で確認する。 ④Target 29 を使い、what を用いた現在進行形の疑問文の構造を理解する。	・c の発音の違いに注意。France/ <u>co</u> stume
6	Part 3 108-109	●what を用いた現在進行形の疑問文を使って、今、何をしているのかについて伝え合ったり書いたりする。 ①Practice をペアで行い、絵に描かれている人が何をしているか尋ね合う。 ②Use①をペアで行い、写真の動物が何をしているか尋ね合う。 ③Use②①のやり取りを1つ書く。 ④本文の音読活動や内容理解のために Q を行う。	①Tool Box で動詞を確認する。
7	RT 110-111	●日本のマンガ文化について書かれた記事を読んで、その概要を捉える。 ①本文を読んで、知っている単語や表現をクラス全体で共有する。 ②Words の新出語句を確認する。 ③Understanding 1 と 2 を行い、クラス全体で内容の理解度について確認する。	①キーワードやキーフレーズについて確認する。
8	RT 110-111	●日本のマンガ文化について書かれた記事に対する自分の考えを、相手に理解してもらえようように簡単な語句や文を用いて話す。 ①Understanding 1 と 2 の英文を参考にしながら、記事の概要を振り返る。 ②Understanding 3 の質問に答えるように、自分の意見をまとめる。 ③②でまとめた自分の意見をグループで発表する。	③原稿を見て発表するのではなく、要点をメモし、それに基づいて発表できるようにする。
後日		ペーパーテスト ・今していることを説明するために、現在進行形の文を用いて短い文章を書く。 パフォーマンステスト ・今していることについて、その説明を簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答える。	・いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。

Book 1 p.112 Let's Talk 9 電話 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	112	<p>●電話の基本的な応答表現を用いて、電話をかけたり、かかってきた電話に応答したりする。</p> <p>①モデル対話を聞き、概要を捉える。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。重要表現を確認する。</p> <p>③モデル対話の概要を確認した後、クラス全体で音読する。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。また、Tool Box にある電話特有の表現や依頼や提案などを断る表現を参考にしながら自由に対話をする。</p>	⑤電話特有の表現や依頼の表現などを使って対話できるようにしたい。
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話での対話を読み、必要な情報を整理しながら、要点を理解する。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の都合を確認しながら、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の1つを学期末に行う。

Book 1 p.113 Let's Listen 3 ニュース 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	113	<p>●ニュースレポートで使われている語句の意味や働きを理解し、レポートを聞いて必要な情報を聞き取る。</p> <p>①Words の新出語句を確認する。2 の選択肢にある国名についても確認する。</p> <p>②1 ニュースレポートを一度聞いて、どの写真についてのレポートかを聞き取る。</p> <p>③2 もう一度レポートを聞いて、どの国のニュースかを聞き取る。</p> <p>④ニュースレポートから聞き取った情報をクラス全体で確認する。</p> <p>●Yes, No 疑問文は文末を上がり調子で、wh 疑問文は下がり調子で言うことや、or を含む文では or の前は上がり調子で、or の後の文末は下がり調子で言うことを理解し、英語のイントネーションに注意して話す。</p> <p>⑤発音コーナー③の1～3の疑問文を矢印に注意して読み、英語のイントネーションについて理解する。</p>	<p>②「どこで」、「だれが」、「何をしているか」を聞き取る。</p> <p>⑤英語の基本的なイントネーションの確認をする。</p>
後日		<p>リスニングテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースレポートを聞き、その要点を聞き取る 	

Book 1 p.114 Target のまとめ ⑩ 現在進行形

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	114	<p>●現在進行形の肯定文, 否定文, 疑問文の構造を理解し, 場面や目的に応じてそれらを正しく用い, 伝え合う。</p> <p>①表にある現在進行形についての理解度を, 例文を使って確認する。</p> <p>②Let's try の会話例をペアで読み, 表にある表現が会話中でどう機能しているかを確認する。</p> <p>③Let's try の会話例を参考に, ペアになって絵の中の人物を選び, 会話をして相手が選んだ人物を当てる。</p>	②文脈の中で機能を確認するようにする。
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形を含む肯定文, 否定文, 疑問文の表現について理解する。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心のある事柄について情報交換するために, 進行中の動作について現在進行形を用いて即興で伝え合う。 	

Book 1 pp.115-117 Project 3 日記を書こう 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	115 1	<p>●書き方に特徴のある2つの日記を読んで, 正しく情報を読み取る。</p> <p>①1の1日の出来事を時間の順に書いている日記を読んで, 知っている単語や表現を共有する。次に, ある出来事を詳しく書いている日記を読んで, 知っている単語や表現を共有する。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③再度2つの日記を読み, それぞれの1~3に分かったことをメモする。</p> <p>④日記の書き方の違いについて確認する。</p> <p>⑤クラス全体で内容についての理解度を確認する。</p>	<p>①キーワードやキーフレーズについて確認する。</p> <p>④日記文の構成について確認する。</p>
2	116 117	<p>●p.115 の2つの日記の書き方にしたがって, 読み手に理解してもらえるように簡単な語句や文を用いて, 自分のある1日の日記を書く。</p> <p>①p.116 の新出語句を確認する。</p> <p>②p.116 にある「日記でよく使われる表現」を確認する。</p> <p>③2①の活動を行う。1の「1日の出来事を時間の順に書く」の1~3のメモを参考に, 1日の出来事を時間の順に書く。次に, 「ある出来事をくわしく書く」の1~3のメモを参考に, ある出来事を詳しく書く。</p> <p>④書き上げた2つの日記を読み直し, 校正する。</p> <p>⑤2②の活動を行う。ペアやグループで交換し, 日記について質問し合う。</p>	③出来事の感想も書く。
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身近な出来事について事実を整理し, 自分の感想を交えながら簡単な語句や文を用いて日記を書く。 <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日記に書いた事柄に対して受けた質問に, 簡単な語句や文を用いて応答する。 	

Book 1 pp.118-119 Let's Read 1 The Crow and the Pitcher 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	118	<p>●簡単な語句や文で書かれたカラスと水差しについて、物語の前半の要点を捉える。</p> <p>①挿絵を見ながら p.118 の本文を聞いて、分かった単語や表現をクラス全体で共有する。</p> <p>②Words の新出語を確認する。</p> <p>③各自で Q1 の答えを探すように本文を読む。</p> <p>④グループになって Q1 の答えを順番に発表する。</p> <p>⑤クラス全体で Q1 の答えとその答えの理由を確認する。</p> <p>⑥本文の音読練習をする。</p>	②特に重要な単語は、例文等を使用しながら説明し、定着を図る。
2	119	<p>●物語の後半の要点を捉え、カラスがどのようにして水を飲むことができたかを簡単な語句や文を用いて伝え合う。</p> <p>①挿絵を見ながら p.119 の本文を聞いて分かった単語や表現を確認する。</p> <p>②Words の新出語を確認する。</p> <p>③各自で Q2 の答えを探すように本文を読む。</p> <p>④グループになって Q2 の答えを順番に発表する。</p> <p>⑤クラス全体で答えとその答えの理由を確認する。</p> <p>⑥pp.118-119 の本文をとおして音読練習をする。</p> <p>⑦この物語の教訓をグループで考え、順番に発表する。その後クラスで共有する。</p>	②特に重要な単語は、例文等を使用しながら説明し、定着を図る。
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・段落ごとに順番がバラバラになっている英文を読み、正しい順番に並び替える。</p>	

Book 1 pp.120-121 Let's Read 2 River Crossing Puzzle 指導計画

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	120	<p>●川渡りのパズルを読んで要点を捉え、一緒にしてはいけない組み合わせを考える。</p> <p>①挿絵を見ながら本文を聞いて、分かった単語や表現をクラス全体で共有する。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③各自で Q の答えを探すように本文を読む。</p> <p>④グループになって Q の答えとその理由を順番に発表する。</p> <p>⑤クラス全体で Q の答えとその答えの理由を確認する。</p> <p>⑥本文の音読練習をする。</p> <p>・時間に余裕があれば、グループでパスの答えを考える。(その際、オオカミ、ヤギ、キャベツ、農夫、船のカードを作り、川の渡し方の順番を試してみる。)</p>	<p>②特に重要な単語は、例文等を使用しながら説明し、定着を図る。</p> <p>④岸と一緒に残してはいけない組み合わせとその理由が書かれている文を探す。</p>
2	121	<p>●パズルの解答例を読んでその要点を捉え、川の渡し方を理解する。</p> <p>①挿絵を見ながら本文を聞いて、分かった単語や表現をクラス全体で共有する。</p> <p>②Words の新出語句を確認する。</p> <p>③各自で再度読み、船でわたすものと岸と一緒に残す組み合わせをメモする。</p> <p>④クラス全体でパズルの答えを確認する。</p> <p>⑤pp.120-121 の本文をとおして音読練習をする。</p> <p>・時間に余裕があれば、グループで本文の答えのほかに川の渡し方がるか考える。</p>	<p>②特に重要な単語は、例文等を使用しながら説明し、定着を図る。</p> <p>③各分の First, Second, Third, Finally の意味と使い方を確認する。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・簡単な語句や文で書かれたパズルを読み、その答えを書く。</p>	